

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| □2019年度 事業スタート！…………… 1P | □ベティ基金交流会開催…………… 2P |
| □法人設立20周年記念事業のご案内…… 1P | □みんなの喫茶ひだまりオープン…………… 3P |
| □通常総会・会員交流会のご案内…………… 1P | □グッドガバナンス認証制度…………… 3P |
| □知多市 ファシリテーション研修…………… 2P | □会費納入のお願い…………… 3P |
| □プロボノ派遣事業@知多報告会…………… 2P | □新会員紹介…………… 3P |
| □介護職員初任者研修(日福大)修了 …… 2P | □インフォメーション…………… 4P |

2019年度 事業計画スタート！

もうすぐ平成から令和へと元号が改正されます。そして、今年の12月には当法人設立20周年を迎えます。

東海市で始まった市民互助活動が市町域を超えて緩やかにつながり、持続可能なまちづくりの一要素である人材育成を核に持って生まれた私たちは1999年12月に法人格を取得しました。

10周年には、学生を通して私たちの活動を映し出す日本福祉大学NPO協働型サービラーニングが始まりました。また、これまでの軌跡を「知多半島型福祉モデル」にまとめ、まちづくりの凡例として全国に発信しました。さらに、幸せとは何かを問いかける映画「降りていく生き方」の上映もこの年でした。これまで私たちが大切にしてきた「幸せ」が未来に続くよう、法人設立20周年記念事業では次の通り講演会等を開催します。ご予約いただければ幸いです。（詳細は、改めて後日案内いたします）



「知多半島型福祉モデル」当法人HPダウンロード

法人設立20周年記念事業ご案内

日 時 2019年12月15日（日）午後
会 場 知多市勤労文化会館 やまももホール
講演会 「幸せのメカニズム（幸福学）」
前野隆司氏（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長・教授）

ところで、2019年3月18日に開催した第119回理事会において、議決された活動方針・事業計画について、次の通りご報告申し上げます。

2025年ビジョンに向けた中長期計画「0～100歳の地域包括ケア実現」を目指して今年度は、①主に居宅介護事業所の事業計画継続(BCP)策定のための勉強会を

行い、働く人の安全と持続可能な経営を考える機会につなげます。②日本福祉大学 地域包括ケア研究会における「在宅医療・介護連携推進のための研修会のモデル開発事業」の事務局を行い5市5町の関係者との顔から腹の見えるまでの関係づくりに寄与します。③法人設立20周年記念事業を契機にまちづくり型福祉「知多半島型福祉モデル」を次世代につなげるよう取り組んでまいります。

組織運営は、①事業推進力・事務管理能力の向上に力点を置いて安心安全な雇用環境を定着させ、ボランティアやインターンシップを受け入れ、ネットワークの拡大を図ります。②会員及び関係組織とのコミュニケーションを積極的に図るよう会員交流会、各種研修会、地域円卓会議を開催して情報共有に努めます。③事業推進及び組織基盤強化による信用を高め、NPOの経営の基本である会員拡大をすすめます。④方針決定機関としての理事会機能を高め、的確な情勢判断や方針づくりを行います。また、小刻みな事務局会議を開催しながら事業に反映させ進めていく所存です。

引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年度の会員交流会は上述の取り組み、在宅医療・介護連携推進事業の多職種研修に注目した5市5町のヒアリング調査を踏まえて、知多半島圏域の特長について藤井博之先生（日本福祉大学社会福祉学部教授）をお迎えし、会員交流会を開催します。申込・お問い合わせは同封のチラシをご参照ください。（市野）

通常総会・会員交流会のご案内

日にち 2019年5月30日（木）
会 場 知多市市民活動センター2階会議室
通常総会 14:00～15:30、会員交流会 15:30～17:00
講演&交流会「在宅の暮らしを支える多職種連携～知多半島圏域の医療と介護と福祉を考える～」

■知多市 ファシリテーション研修

自治省のモデルコミュニティ構想発表から10年後、知多市では1981年から7年かけ、子どもたちの行動範囲でもある小学校区を単位に10コミュニティを設置した。より一層の住民自治を進めるべくコミュニティに交付金へ一般財源化され、祭りやスポーツクラブ等地域の特性に合わせて、活気あふれる運営が行われている。しかし、近年人口減に転じた市の高齢化率は27.0%と高く、特に南部の児童数の減少は著しく見守り等の地域の役割は益々増えている。そこで、生き生きと健康を保ち、たすけあう気持ちを育む地域活動の担い手育成を目的に、コミュニティ役員、社協や福祉NPOで構成する生活支援コーディネーターとともに、課題解決に至る円滑な話し合いを引き出し、参加から参画を促すための3回連続ファシリテーション研修を実施した。

被災地等での合意形成に実績ある篠原辰二氏（一社/WellbeDesign）、地域の慣習を言語化する「集落の教科書」の開発者、高橋博樹氏（N/テダス）を講師に迎え、日頃のエピソードを盛り込んだ講義と演習内容に参加者の理解が進んだ。（市野）

■プロボノ派遣事業@知多報告会



プロボノ合同研修の様子

2018年度市民活動団体プロボノ派遣事業の報告会を2月16日、知多市市民活動センターにて開催した。同

事業は知多市まちづくり人材育成事業の一環として現役世代を対象に、プロボノ（仕事上の経験やスキルを活かしたボランティア）を募集し、活動を通して地域やまちづくりへ関心をもつことを目的に、派遣希望4団体と20代～70代のプロボノ7人のマッチングを行った。

研修や交流会を経て、絞り込んだ課題から協議を重ね、HPの立ち上げ、運営書類の作成補助、広報のアイデアなどを各チームで取り組んだ。

プロボノ支援を受けた団体からは「客観的な意見、見方を得られた」と評価し、プロボノからは「短い期間の中でどんな支援をすることが効果的という点は悩んだ」、「知的ボランティアでもっと貢献できることがあるので次回もぜひ」という意見があり、事業終了後、団体支援が継続しているなどの成果もみられる。今年度も実施するため、プロボノと派遣希望団体を募集中。（竹内）

■介護職員初任者研修(日福大)修了

日本福祉大学美浜校で3月20日、学部も学年も違う学生23人が介護職員初任者研修通信課程を修了した。顔合わせした当初はとまどう様子も見られたが、130時間の講義と演習を終え、介護老人保健施設やグループホーム等の5施設に分かれて現場実習を行った。



最終の筆記試験「自立を促す支援の在り方について語り合う学生たち」があったこの日は、実習報告会も行われ、互いに意見を出し合い学ぶ姿がみられた。

「介護に関心がなかったが、現場の方の生の声を聞き、人に対する丁寧な考え方に触れ、一人の人間として考えさせられることが多くあった」、「ボディメカニクスや一つ一つの行動に意味があることを知って、介護はとてもおもしろく、やりがいがあると感じた」等、講義や現場実習を通してヘルパーとしての心構えを学んだ。（山森）

■ベティ基金交流会開催

2018年1月～12月にベティ基金を受領した6団体11人が12月1日、東海市にある「ベティさんの家」で開催された交流会に参加した。第1部では「ベティさんの家」の居住者と一緒に体操した後子どもたちからは歌やダンスの披露があり、心む時間を過ごした。

第2部では団体間の情報交換として、障がいの子どもの体操教室、さおり織りの出前講座、就労支援等お互いに興味にあることで会話が途絶えることがなく有意義な時間を過ごし、次の活動への思いがふくらむ良い機会となった。



団体同士の情報交換の様子

2014年12月に発足したベティ基金は、4年間で延べ35団体に助成を行ってきた。制度によらない障がい者福祉活動を行うボランティア団体等を応援する。

現在、申請を募集、〆切は①7月末（8月審査、9月助成）②11月末（12月審査、翌1月助成）。また、申請団体が活動に注力できるよう簡素化、申請金額も事業規模に合わせる等の改善があるため、事務局までお問い合わせください。（江端）

■みんなの喫茶ひだまりオープン

半田市立図書館・博物館内の喫茶2号店として4月1日にオープンした「みんなの喫茶ひだまり」は、ふらっとスペース・ならわのエントランス奥のフリースペースで運営する。喫茶は、あいちオレンジタウン構想「認知症に理解の深いまちづくりモデル事業」の半田市地域丸ごとカフェ事業として位置づけられており、日本福祉大学、半田市社協、地元の民生委員や区長で構成された検討委員会を設置し、行政・社協・NPOの三者協働で運営を進めており、月曜から金曜の13～15時まで「プラチナタイム」としてケアマネージャーや介護福祉士等の専門職が配置され、気軽に相談ができることが特徴となっている。

ふらっとスペース・ならわは名鉄河和線青山駅から徒歩8分、近くには幼稚園や銀行もある閑静な住宅街の一角にある6階建てのワンルームマンションで、NPO法人ひだまりの創立20周年記念事業として5月のグランドオープンに向けて準備を進めている。見守り支援が必要だが自立した生活ができる独り暮らしの方、乳幼児のいる母（父）子家庭、また空いた時間を活した共用部分の掃除や居住者の安否確認等を行うことで家賃を抑えることができるため、学生や社会人の入居も募集している。誰もが輝いて生活できるよう、合言葉は「誰にでもやさしい空間」。入居希望者には1階の喫茶で3食の提供を受けることもでき、福祉をはじめとする多彩な専門家に住まい・生活・就業の相談コーナーが設けられている。



現在、60戸の入居者募集中のふらっとスペース・ならわの外観

みんなの喫茶ひだまりを運営するNPO法人ひだまりの沿革は、1997年半田市東本町に「ミニデイサービスひだまり」を開設して以降、2002年に法人化に合わせて「ひだまり指定通所介護事業所」へ改称した。2003年居宅介護支援事業所を成岩本町に開設、住民とのふれあい事業として2005年に半田市立図書館・博物館内に自主事業「みんなの喫茶ひだまり」をスタートする。2007年に指定通所介護事業所、居宅介護支援事業所（現在はケアプランセンターにじいろ）を現在の清水北町に移

転している。（市野）

■グッドガバナンス認証制度

4月19日、TKP銀座ビジネスセンター（東京都中央区）にて、（一財）非営利組織評価センター（以下、JCNE）主催のグッドガバナンス認証制度併走支援集合研修が開催され、並走支援を行う全国の27団体が2018年度の組織評価、認証の実績、資金提供者の開拓の状況、2019年度の進め方を確認し情報交換を行った。

ベーシック評価からスタートしたJCNEによる非営利組織の第三者組織評価制度は、昨年度上位基準であるアドバンス評価が策定され、アドバンス評価をクリアした団体は、グッドガバナンス認証を申請できるようになった。認証された団体には認証書が付与され、上図の認証マークを掲示することができる。2019年3月時点で、63団体がベーシック評価結果を公開し、6団体がグッドガバナンス認証を取得している。



グッドガバナンス認証

今年度からは、公益財団、公益社団、社会福祉法人も対象になり、公益型非営利法人全体を対象とした制度となった。また、助成金等の資金提供団体との連携も進んでおり、助成金申請時に組織評価や認証の有無、評価結果の提出を求める支援団体が出てきている（三菱財団、損保ジャパン日本興亜福祉財団など）。

当法人では、JCNEから新たに提供される組織評価と基盤強化に向けた自己診断ツールも活用しながら、今年度も第三者評価組織評価、認証制度の普及促進に向け、並走支援を行っていく。（伊藤）

..*☆..°☆* ..*°..☆..°☆*..☆*..*☆*..

会費納入のお願い

平素は、当法人の活動にご賛同いただきまして誠にありがとうございます。2019年度も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。なお、振込用紙を同封させていただきますので、ご利用ください。

○正会員／(団体) 15,000円 (個人) 5,000円
○準会員／(団体) 5,000円 (個人) 3,000円

新会員紹介

ご入会ありがとうございます (2019/4/19現在)

【準/団体】一般社団法人 Bumpy Company 様

°☆..*☆*..°☆*..*☆*..*°..☆*☆*..

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■働き方改革 有給取得の義務化

2019年4月1日から有給取得の義務化が始まっています。ポイントは以下の通りです。

- ①対象は10日以上付与される従業員
- ②4月以降の付与日から1年で5日間消化する
- ③本人からの請求、会社からの指定のいずれも可
- ④会社から指定する場合、労使協定が必要
- ⑤権利消滅前の買取はできない
- ⑥違反すると罰金30万円/一人につき

5日取得の義務対象者でなくても、アルバイト、パートにも付与しなければなりません。この点にも厳しい監査の目が入りますので、取得された場合の年間人件費の見積等、予算付けしておくことが求められます。

〈情報提供 社会保険労務士 加古 明〉

■ゆいの会 文化祭

〈日時〉2019年5月19日(日)10:00～15:00

〈場所〉ゆいの会 (知多市新知字西屋敷22-2)

〈内容〉

- ・さをり織り、陶芸、パッチワークなどの展示・即売
- ・絵てがみ、パソコンの体験コーナー
- ・オカリナ演奏、民謡
- ・産直物産市、喫茶、カレーライス・団子・クレープ販売
- ・お楽しみ抽選会

〈主催〉(N)ゆいの会 ☎0562-32-5906

〈その他〉ゆいの会では、お弁当の調理・配達スタッフ、ヘルパーを募集中

■チャレンジド スタッフ大募集

〈職務〉居宅・移動支援、放課後等デイ

〈勤務形態〉常勤、嘱託、バイトなど 勤務時間は応相談

〈申込〉随時対応

〈問合せ〉(N)チャレンジド ☎0569-87-6727

住所:美浜町奥田儀路272(知多奥田駅すぐ)

Email: npochallenged@y2.dion.ne.jp

※アットホームな組織です。まずはお気軽に見学からでもご連絡ください。

■成年後見サポーター研修講座

〈日時〉2019年6月14日～7月19日(毎週金曜全6回)
13:30～16:00

〈会場〉武豊町中央公民館 2F 視聴覚室
(知多郡武豊町字山ノ神20-1)

〈定員〉30人(先着順:5月13日(月)から受付開始)

〈受講料〉1,000円(資料代)

- 〈内容〉
- 1日目 成年後見概論
 - 2日目 高齢者・障害者の権利侵害の状況
 - 3日目 法定後見の申し立て手続き
 - 4日目 財産管理と身上監護Ⅰ
 - 5日目 財産管理と身上監護Ⅱ
 - 6日目 後見人の実務

〈申込〉(N)知多地域成年後見センター ☎0562-39-2663

■あいち地域包括ケアポータルサイト開設される

愛知県では、地域包括ケアに関する情報発信の充実を目的に2019年3月20日、高齢者と地域をつなぐプラットフォームとして「あいち地域包括ケアポータルサイト」が開設された。

〈URL <https://www.aichi-chiikihoukatu-portal.jp/>〉

主なコンテンツは、地域包括ケアシステムについて、地域包括支援センター情報、地域包括ケアに関する地域イベント及び登録活動団体の情報検索機能のほか、認知症に関する情報が掲載されている。

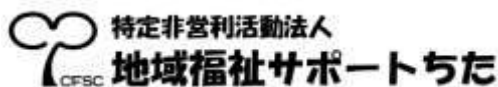
メリットは、活動団体として登録することで、団体情報や取組内容の紹介、イベント情報の紹介、WEBでの申込受付ができる等がある。詳しくは、同封のチラシをご参照ください。

■手づくりカフェAda-codaワンデイシェフ募集中

手づくりカフェAda-codaは、ワンデイシェフ方式を取り入れて運営しています。店には、食品管理衛生責任者、コーディネーターが常駐しており、資格がなくても大丈夫！現在、男女を問わず、いろんな国や世代がシェフとして登録し、それぞれ個性に合わせたお店づくりを提供している。

自分色を発揮してみませんか？ まずはご相談ください。

年間登録料2千円/1グループ サポートちた担当:竹内



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階
TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp



◆地域福祉サポートちた
HP: cfsc.sunnyday.jp/
FB: facebook.com/sapochita/

◆手づくりカフェAda-coda
HP: cfsc.sunnyday.jp/01-adacoda/
FB: facebook.com/Adacoda.cafe/